

1. 略歴

2002年3月	東京大学文学部歴史文化学科考古学専修課程卒業
2002年4月	財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団 期限付調査員（～2003年3月）
2003年4月	東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻考古学専門分野修士課程入学
2005年4月	明治大学校地内遺跡調査団 短期嘱託職員（～2006年3月）
2006年3月	東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻考古学専門分野修士課程修了
2006年4月	東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻考古学専門分野博士課程進学
2006年4月	日本学術振興会 特別研究員（DC1）（東京大学大学院人文社会系研究科）（～2009年3月）
2010年3月	東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻考古学専門分野博士課程単位取得満期退学
2010年4月	青森県教育庁文化財保護課 文化財保護主事（～2014年8月）
2010年12月	東京大学大学院人文社会系研究科・博士（文学）授与
2014年9月	国際教養大学地域環境研究センター 助教（～2015年3月）
2015年4月	国際教養大学アジア地域研究連携機構・国際教養学部 助教（～2019年3月）
2019年4月	国際教養大学アジア地域研究連携機構・国際教養学部 准教授
2021年4月	東京大学大学院人文社会系研究科 准教授

2. 主な研究活動

(1) 著書

根岸洋『東北地方北部における縄文／弥生移行期論』雄山閣、2020.7

(2) 編著書

根岸洋・工藤大（編）『湧館遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第521集、青森県教育委員会、2012.3

佐々木健・島田祐悦・佐藤知也・大野憲司・鈴木俊男・根岸洋（編）『神谷地遺跡・小出遺跡—農地集積加速化基盤整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—』横手市文化財調査報告書第32集、横手市教育委員会、2015.3

根岸洋・三浦一樹・長谷川大旗（編）『文化遺産研究報告—大曲遺跡資料・砂沢遺跡資料：新谷雄蔵氏収集資料の報告—』第1号、国際教養大学アジア地域研究連携機構研究報告書第1集、国際教養大学アジア地域研究連携機構、2016.3

浅田智晴・佐藤智生・根岸洋（編）『二枚橋（1）遺跡—一般国道276号二枚橋バイパス道路改築事業に伴う遺跡発掘調査報告—』青森県埋蔵文化財調査報告書第581集、青森県教育委員会、2017.3

根岸洋（編）『文化遺産研究報告』第2号、国際教養大学アジア地域研究連携機構研究報告書第3集、国際教養大学アジア地域研究連携機構、2017.3

根岸洋（編）、『文化遺産研究報告—高梨学術奨励基金平成29年度若手助成「東北地方北部における紀元前一千年紀の気候変動と居住形態に関する考古学的研究」・国際教養大学平成29年度科学研究費補助金インセンティブ経費「縄文晩期における古気候変動とセトルメントパターンの関係」等研究成果報告書—』第3号、国際教養大学アジア地域研究連携機構研究報告書第4集、国際教養大学アジア地域研究連携機構、2018.3

根岸洋（編）、『紀元前一千年紀前半の気候変動期における縄文晩期社会システムの変容プロセス』国際教養大学アジア地域研究連携機構研究報告書第5集、文化遺産研究報告第4号、国際教養大学アジア地域研究連携機構、2021.3

(3) 論文

根岸洋「砂沢式再考」『研究紀要』第18号、1-20頁、埼玉県埋蔵文化財調査事業団、2003.6

島田祐悦・根岸洋「雄物川町十三塚遺跡出土の弥生土器」『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』第19号、45-62頁、秋田県埋蔵文化財センター、2005.3

根岸洋「志藤沢式土器の研究（1）—秋田大学所蔵資料の再報告を中心に—」『秋田考古学』第49号、1-33頁、秋田考古学協会、2005.9

根岸洋「志藤沢式土器の研究（2）—秋田県内の弥生前期・中期の土器編年について—」『秋田考古学』第50号、1-23頁、秋田考古学協会、2006.10

高橋龍三郎・細谷葵・井出浩正・根岸洋「パプア・ニューギニアにおける民族考古学調査（三）—ミルンバイ州イースト・ケープ周辺の調査概報—」『史観』第156冊、74-94頁、早稲田大学史学会、2007.3

根岸洋「弥生時代の遺跡と遺物」『横手市史 資料編 考古』、407-442頁、横手市、2007.3

- 根岸洋「土器作り民族誌と考古学—ラピタ以後のニューギニア、マッシムの土器文化—」『物質文化』No.84、1-22 頁、物質文化研究会、2007.10
- 根岸洋「もう一つの志藤沢式—奥山潤氏の型式設定資料をめぐって—」『秋田考古学』第 51 号、27-36 頁、秋田考古学協会、2007.12
- 根岸洋「稲作農耕の伝播」『横手市史 通史編 原始・古代・中世』、128-143 頁、横手市、2008.3
- Negishi, Y., Comb and appliqué: typological studies of two ceramic traditions during the last thousand years in the eastern Papua New Guinea. *Bulletin of the Department of Archaeology* 22, pp.119-161, the Department of Archaeology, Faculty of Letters, the University of Tokyo, 2008.3
- 高橋龍三郎・細谷葵・井出浩正・根岸洋・中門亮太「パプア・ニューギニアにおける民族考古学的調査 4」『史観』第 158 冊、74-99 頁、早稲田大学史学会、2008.3
- 根岸洋・中門亮太「青森県小森山東部遺跡出土の土偶・土製品」『Ouroboros (ウロボロス)』第 33 号、東京大学総合研究博物館ニュース 12 (3)、14-16 頁、東京大学総合研究博物館、2008.4
- 根岸洋「秋田県の集成と諸問題」『第 6 回弥生時代における砂沢式の諸問題—資料集—』119-146 頁、海峽土器編年研究会、2008.7
- 根岸洋・森先一貴「ニジェール共和国の石器時代」『貝塚』第 64 号、29-43 頁、物質文化研究会、2008.12
- 根岸洋「総称としての『ポスト・ラピタ期』再考—ニューギニア島南海岸の事例から—」『日本オセアニア学会 NEWSLETTER』No.93、1-11 頁、日本オセアニア学会、2009.3
- 高橋龍三郎・井出浩正・根岸洋・中門亮太・根兵皇平「パプア・ニューギニアにおける民族考古学調査 (五) —ミルンベ州トバにおける調査概報—」『史観』第 160 冊、72-89 頁、早稲田大学史学会、2009.3
- 根岸洋「ソロモン諸島におけるラピタ式土器の展開—東京大学所蔵資料の紹介に代えて—」『東京大学考古学研究室研究紀要』第 23 号、29-38 頁、東京大学大学院人文社会系研究科・文学部考古学研究室、2009.3
- 根岸洋「メラネシアの海上交易」『オセアニア学』81-93 頁、京都大学学術出版会、2009.10
- Negishi, Y. and Ono, R., Kasasinabwana shell midden: the prehistoric ceramic sequence of Wari Island in the Massim, eastern Papua New Guinea. *People and Culture in Oceania* 25, pp.23-52, the Japanese Society for Oceanic Studies, 2009.11.
- 根岸洋「接合法から考える土器技術論—パプア・ニューギニア東部の土器作り民族誌から—」『南海を巡る考古学』253-280 頁、同成社、2010.9
- 根岸洋「縄文晩期/弥生移行期における居住戦略の検討—馬淵川・新井田川流域を中心に—」『第 5 回年代測定と日本文化研究シンポジウム予稿集』109-118 頁、「年代測定と日本文化研究」シンポジウム事務局・株式会社加速器分析研究所本社、2010.9
- 根岸洋「東北地方北部における縄文時代の人口変動に関する基礎的研究」『高梨学術奨励基金年報 (平成 23 年度)』181-188 頁、財団法人高梨学術奨励基金、2012.11
- 根岸洋「縄文文化起源論研究史—北方説—」『季刊考古学』第 125 号、18-20 頁、雄山閣、2013.11
- 河野摩耶・南武志・根岸洋・市川健夫「風張 1 遺跡・中居遺跡出土の土器付着赤色顔料の成分分析と同位体分析」『研究紀要』第 3 号、10-17 頁、八戸市埋蔵文化財センター—是川縄文館、2014.3
- 根岸洋「秋田県内におけるヘリテージ・ツーリズムの可能性」『国際教養大学アジア地域研究連携機構研究紀要』第 1 号、51-61 頁、国際教養大学アジア地域研究連携機構、2015.6
- 根岸洋「東北地方北部における縄文時代後半期の朱利用についての予察」『特別展図録 2015 「漆と縄文人」』100-104 頁、八戸市埋蔵文化財センター—是川縄文館、2015.7
- 根岸洋「朱の産地同定分析から復元する縄文時代後半期における遠距離交易」『高梨学術奨励基金年報 (平成 26 年度)』129-133 頁、公益財団法人高梨学術奨励基金、2015.11
- 佐藤祐輔・根岸洋「秋田県立博物館所蔵の茂木久榮氏寄贈の弥生土器」『秋田考古学』第 59 号、37-46 頁、秋田考古学協会、2015.12
- 根岸洋・佐々木義孝「考古遺産と観光—史跡秋田城跡を巡る事例研究—」『国際教養大学アジア地域研究連携機構研究紀要』第 2 号、57-67 頁、国際教養大学アジア地域研究連携機構、2016.3
- 高橋龍三郎・根岸洋・平原信崇「パプアニューギニアにおける民族考古学的調査 (13)」『史観』第 175 冊、99-115 頁、早稲田大学史学会、2016.9
- 根岸洋「東北地方北部における弥生時代の赤色顔料利用形態について」『一般社団法人日本考古学協会 2016 年度弘前大会第 I 分科会「津軽海峽圏の縄文文化」研究報告資料集』7-22 頁、日本考古学協会 2016 年度弘前大会実行委員会・弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センター、2016.10

- 根岸洋・小林克・加藤竜・吉川純子・松田瑞生・早瀬亮介・小原圭一「鐙田遺跡出土木製遺物の年代と予察—2017年度調査の概要報告—」『秋田県立博物館研究報告』第43号、21-31頁、秋田県立博物館、2018.3
- 高橋龍三郎・根岸洋・平原信崇・佐藤亮太「パプアニューギニアにおける民族考古学的調査（一五）」『史観』第178冊、87-107頁、早稲田大学史学会、2018.3
- 田中麻琴・中川秀幸・根岸洋「増田重要伝統的建造物群保存地区の維持・継承に関する基礎的研究」『国際教養大学アジア地域研究連携機構研究紀要』第7号、51-61頁、国際教養大学アジア地域研究連携機構、2018.9
- 根岸洋「東北地方北部における紀元前一千世紀の気候変動と居住形態に関する考古学的研究」『平成29年度高梨学術奨励基金年報』170-177頁、公益財団法人高梨学術奨励基金、2018.11
- 根岸洋・國木田大「上新城中学校遺跡2018年度発掘調査の概要報告」『秋田考古学』第62号、1-11頁、秋田考古学協会、2018.12
- 根岸洋「二枚橋期の再検討」『第20回北アジア調査研究報告会発表要旨』73-76頁、北アジア調査研究報告会実行委員会、2019.2
- 根岸洋・齋藤努・森田賢司「二枚橋（1）遺跡出土青銅塊についての考察」『青森県考古学』第27号、97-104頁、青森県考古学会、2019.3
- 根岸洋・長谷川綾子「男鹿のナマハゲ行事の変容と外部参加者受け入れの動向」『国際教養大学アジア地域研究連携機構研究紀要』第9号、65-79頁、国際教養大学アジア地域研究連携機構、2019.6
- 神田和彦・中村由克・五十嵐一治・石川恵美子・赤星純平・嶋景壯憲・根岸洋・矢野行一「雄物川下流域における珪質頁岩の分布調査」『秋田考古学』第63号、1-19頁、秋田考古学協会、2019.12
- 根岸洋「東北地方北部における縄文／弥生移行期論の枠組み」『出羽路』第160号、1-13頁、秋田県文化財保護協会、2020.3
- 根岸洋・池谷信之・佐藤宏之「上北・八戸地域から出土した縄文早期の黒曜石製石器群の産地推定と考察」『東京大学考古学研究室研究紀要』第33号、23-35頁、東京大学大学院人文社会系研究科・文学部考古学研究室、2020.3
- 根岸洋「弥生時代前半期における『津軽海峡文化圏』について」『国際教養大学アジア地域研究連携機構研究紀要』第10号、37-57頁、国際教養大学アジア地域研究連携機構、2020.3
- Chynoweth, M., Summerhayes, G.R., Ford, A. and Negishi, Y., Lapita on Wari Island: what's the problem? *Asian Perspectives: the Journal of Archaeology for Asia and the Pacific*. 59 (1), pp.100-116. University of Hawai'i Press, Honolulu, 2020.4
- 根岸洋・上野祐衣・熊谷嘉隆「『秋田の竿灯』と外部参加者に関する基礎的検討」『国際教養大学アジア地域研究連携機構研究紀要』第11号、111-120頁、国際教養大学アジア地域研究連携機構、2020.7
- 根岸洋・大上立朗・太田圭・岡本洋「宇鉄遺跡出土の碧玉製管玉に関する基礎的研究」『青森県立郷土館研究紀要』第45号、63-74頁、青森県立郷土館、2021.3
- 佐藤宏之・根岸洋「陸奥湾および男鹿半島における木造船を用いた漁撈活動に関する民族考古学的研究」『東京大学考古学研究室研究紀要』第34号、73-84頁、東京大学大学院人文社会系研究科・文学部考古学研究室、2021.3
- 根岸洋・熊谷星・北畑有紀乃「秋田竿燈まつりへの外国人の参加」『国際教養大学アジア地域研究連携機構研究紀要』第12号、63-72頁、国際教養大学アジア地域研究連携機構、2021.3
- 根岸洋・大上立朗「東北地方における弥生前期・中期の碧玉製管玉」『靱（MOMI）』第10号記念号、159-163頁、弥生時代研究会、2021.3
- (4) その他（報告、学会動向レビュー等）
- Onishi, M., Tida, S., Ono, R., Negishi, Y., Tadokoro, K. and Furusawa, T., Book review (Papuan pasts: cultural, linguistic, and biological histories of Papuan-speaking people. Andrew Pawley, Robert Attenborough, Jack Golson, and Robin Hide (eds.), *Pacific Linguistics*, Canberra, 2005, 817 pp.), *People and Culture in Oceania* 24, pp.81-87, the Japanese Society for Oceanic Studies, 2008.12
- 根岸洋「スイスの『杭上住居群』から学ぶこと」『JAPAN ICOMOS / INFORMATION』vol. 8. No. 10、18-19頁、日本イコモス国内委員会、2012.6
- 根岸洋「特集 2012年度の考古学界の動向 弥生時代 東北」『考古学ジャーナル』第642号、58-60頁、ニューサイエンス社、2013.5
- 根岸洋「学際領域研究の動向」『日本考古学年報68（2015年版）』、5-10頁、日本考古学協会、2017.5
- (5) 学会発表等
- 熊木俊朗・A.ワシリエフスキー・前川要・佐藤宏之・大貫静夫・臼杵勲・福田正宏・笹田朋孝・根岸洋「サハリン南部セディフ1遺跡の大型堅穴群について」日本考古学協会第72回総会研究発表、東京学芸大学、小金井市、2006.5.28

- 根岸洋「土器作り民族誌と考古学—ラピタ文化複合後のパプア・ニューギニア—」日本オセアニア学会関東地区例会、東京大学、文京区、2007.12.22
- 長谷川敦章・木内智康・根岸洋・大沼克彦「農耕と牧畜のはざまに ユーフラテス河中流域の青銅器時代拠点集落—シリア、ビシュリ山系テル・ガーネム・アル・アリ遺跡の2007年度発掘調査—」第15回西アジア発掘調査報告会、池袋サンシャインシティ文化会館、豊島区、2008.3.16
- Negishi, Y., Long-term pathways in the coast and island: typological studies of post-Lapita pottery traditions in Papua New Guinea. *the Sixth World Archaeological Congress*. University College Dublin, Ireland. 2008.7.4
- 根岸洋「“流行”の移り変わり—クラ交易網における土器生産地の転換—」日本考古学協会2008年度愛知大会研究発表、南山大学、名古屋市、2008.11.8（紙上発表）
- 根岸洋「メラネシアにおけるポスト・ラピタ段階の設定とその意義」日本オセアニア学会第26回研究大会、別府竹瓦温泉ホテルニューツルタ、別府市、2009.3.19
- 高瀬克範・大坂拓・國木田大・根岸洋・福田正宏「青森県むつ市江豚沢遺跡の発掘調査（2003-2009年）」第11回北アジア調査研究報告会、金沢学院大学、金沢市、2010.3.14
- 根岸洋「東部パプア・ニューギニアの土器文様にみる歴史と象徴性—民族誌と考古資料をつなぐもの—」「土器と窯業の民族考古学」ワークショップ、関西大学、吹田市、2011.1.22
- 鐘ヶ江賢二・根岸洋・棟上俊二・上原誠一郎「パプアニューギニアにおける資源利用と土器文化形成」日本文化財科学会第28回大会、筑波大学、つくば市、2011.6.11
- 根岸洋「儀礼調理用土器と木製品から見るシンボリズム—パプア・ニューギニア東部の事例から—」平成23～25年度科学研究費補助金基盤研究(B)「先史時代における儀礼食の研究」講演会、國學院大学、渋谷区、2013.3.30
- 根岸洋「東北地方北部における縄文／弥生移行期の集落と遺跡動態」科学研究費補助金基盤研究(B)「完新世の気候変動と縄文文化の変化」公開シンポジウムV『縄文／弥生の画期—2.8ka イベントをめぐる考古学現象—』、東北芸術工科大学、山形市、2013.12.8
- Negishi, Y., Rock engraving in the Massim region of Papua New Guinea. *the 20th Indo-Pacific Prehistory Association Congress Cambodia 2014*. Apsara Angkor Resort & Conference Hotel, Cambodia, 2014.1.17
- Negishi, Y., The nomination of Jomon Archaeological Sites to the World Heritage list. *the 20th Indo-Pacific Prehistory Association Congress Cambodia 2014*. Apsara Angkor Resort & Conference Hotel, Cambodia, 2014.1.17
- 山田康弘・茂原信生・柴田知二・蔦川貴祥・根岸洋「岩手県二戸市中穴牛遺跡における遠賀川系土器使用の土器棺墓について」日本考古学協会第80回総会研究発表、日本大学、世田谷区、2014.5.18
- 根岸洋「志藤沢遺跡にみる弥生時代の日本海交流」2015年度秋田大学史学会大会、秋田大学、秋田市、2015.9.27
- 根岸洋・片岡太郎・鐘ヶ江賢二「土器の接合痕と製作法に関する技術論的研究—パプア・ニューギニアの土器作り民族誌から—」日本考古学協会第82回総会研究発表、東京学芸大学、小金井市、2016.5.29
- 根岸洋「新谷雄蔵氏の砂沢式土器研究」平成28年度青森県考古学会研究発表会、三内丸山遺跡縄文時遊館、青森市、2016.6.18
- Negishi, Y., and Kataoka, T., Reconstructing fingering technique from joining traces of clay rolls: ceramic ethnoarchaeology and microscopic analysis. *the Eighth World Archaeological Congress*. Doshisha University, Kyoto, 2016.8.30
- Chynoweth, M., Negishi, Y., Ford, A. and Summerhayes, G.R., Locating Lapita: investigating the origins of pottery and obsidian from Kasasinabwana shell midden in the Massim, Papua New Guinea. *the Eighth World Archaeological Congress*, Kyoto, Doshisha University, 2016.8.30
- Kobayashi, M., Murakami, Y. and Negishi, Y., Discovery of the authentic pit house buried by the lahar of the Towada Volcano eruption in AD 915. *the Eighth World Archaeological Congress*, Doshisha University, Kyoto, 2016.9.1
- Negishi, Y., Conservation of 'invisible' Jomon Archaeological Sites in Japan. *International Symposium on Amsa Prehistoric Site 2016: Emergence of Neolithic Culture and Preservation of Prehistoric Sites*. Korea Press Foundation Center, Korea, 2016.10.7
- Negishi, Y., Transformation of the Jomon-era ritual system: a case study of the Jomon / Yayoi transition in the 1st millennia BC in the Tohoku region of the Japanese Archipelago. *the 82nd Annual Meeting, Society for American Archaeology*, Vancouver Convention Centre, Canada, 2017.3.31
- 國木田大・根岸洋・井上雅孝・武田嘉彦・東海林心・五十嵐祐介・西村広経・松崎浩之「東北地方北部の弥生時代における土器付着物を用いた食性分析」日本文化財科学会第34回大会、東北芸術工科大学、山形市、2017.6.11
- Nakagawa, H., Negishi, Y. and Sussan, F., Private purse strings to fund public goods? *57th meeting of the Southern Regional Science Association*, Courtyard Philadelphia Downtown, USA, 2018.3.15

Negishi, Y., Kobayashi, K. and Hakozaki, M., Settlement dynamics and climate change in Final Jomon period. *International Symposium, Jomon Transitions in Comparative Context: complexity, materiality, ritual and demography among prehistoric complex foragers in Japan and Europe*, Sainsbury Institute for the Study of Japanese Arts and Cultures and University of East Anglia, 2019.1.11

根岸洋「二枚橋式期の再検討」青森県考古学会公開講座『遺跡が語る下北の歩み』、むつ市中央公民館、むつ市、2018.9.8
佐藤宏之・根岸洋「男鹿の丸木舟」『3 万年前の航海徹底再現プロジェクト研究会—丸木舟について考える—』、国立科学博物館、台東区、2019.3.13

根岸洋・西村広経・隈元道厚・関根有一朗・國木田大「上新城中学校遺跡における縄文晩期後半の溝跡（木柵跡）とその評価」日本考古学協会第 86 回総会研究発表、紙上発表、2020.5

根岸洋「秋田県湯沢市鏡田遺跡出土土器の整理作業について」弥生時代研究会第 1 回 online 学習会、オンライン開催、2020.9.20

3. 主な社会活動

(1) 非常勤講師

国際教養大学国際教養学部（2012～2014）

極東連邦総合大学人文学部（ロシア連邦）（2016）

放送大学秋田学習センター（2016～2019）

(2) 学会・社会活動等

秋田考古学協会（2005～）、日本オセアニア学会（2008～）、青森県考古学会（2010～）、
日本考古学協会（2014～）、日本イコモス国内委員会（2014～）

International Scientific Committee on Archaeological Heritage Management（2014～）

World Archaeological Congress（2016～2017）、Society for American Archaeology（2017～）

横手市史編さん委員会（考古部会）執筆協力員（2005～2007）

秋田県ジオパーク連絡協議会研究統括会専門委員（2015～2021）

総合地球環境学研究所プロジェクト協力員（2015～2016）

縄文遺跡群世界遺産登録推進会議担当者会議 4 道県分科会作業WG 外部委員（2016～）

秋田城跡歴史資料館協議会委員（2017～2021）

史跡協本城調査整備委員（2017～2021）

特別史跡三内丸山遺跡発掘調査委員会委員（2017～）

青森県立郷土館ゲストキュレーター（2018～）

(3) 講演等

根岸洋「ニューギニア島の新石器文化について」平成 26 年度是川縄文館考古学講座、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館、八戸市、2014.12.6

根岸洋「縄文遺跡群の特徴—海外の類似遺跡との比較から—」世界遺産登録推進フォーラム『北海道・北東北の縄文遺跡群』、有楽町朝日ホール、千代田区、2015.1.24

根岸洋「考古学からみた秋田県内の稲作文化」フォーラム『横手盆地の稲作の起源と歴史』、よこてシャイニーパレス、横手市、2015.10.18

根岸洋「環状列石を自分の言葉で語るために」平成 28 年度鷹巣地方史研究会歴史教室、伊勢堂岱遺跡縄文館、北秋田市、2016.6.11

根岸洋「遺産観光のすすめ—文化遺産の保護と観光を両立するには—」平成 28 年度あきたスマートカレッジ特別講座、にかほ市金浦公民館、にかほ市、2017.3.4

根岸洋「歴史再発見・常呂遺跡と竪穴住居—北東北の遺跡からみた北の古代文化—」ところ遺跡の森考古学講演会、北網圏北見文化センター、北見市、2017.3.18

根岸洋「民族考古学からみた縄文時代のネットワーク」平成 30 年度特別展「縄文と沖縄—火焔型土器のシンボリズムとヒスイの道—」関連催事シンポジウム『縄文のシンボリズムとネットワーク』、沖縄県立博物館・美術館、那覇市、2018.11.24

根岸洋「産学官民連携としての JR 東日本寄付講座の取り組み」第 5 回大学コンソーシアムあきた高等教育セミナー、明德館ビル・カレッジプラザ、秋田市、2019.10.12

根岸洋「柵に囲まれた縄文集落を掘る—秋田市上新城中学校遺跡—」仙台市縄文の森広場縄文講座、仙台市縄文の森広場、仙台市、2020.1.19